

- 1920年 大正9年 ● 人見圓吉(詩人・人見東明)ほか有志4名が私塾「日本女子高等学院」創立
文学部を設ける
- 1922年 大正11年 ● 私立学校「日本女子高等学院」に昇格
専攻部に文学部を置く
- 1927年 昭和2年 ● 財団法人日本女子高等学院を設立
専攻部を「日本女子高等学院本科」と改める
- 1946年 昭和21年 ● 財団法人東邦学園を設立し、これを母体とする「日本女子専門学校」を設置
日本女子高等学院本科の課程を日本女子専門学校に引き継ぐ
- 1949年 昭和24年 ● 新学制によって日本女子専門学校を「昭和女子大学」に改める
学芸学部国文学部を設ける
- 1951年 昭和26年 ● 財団法人東邦学園を「学校法人昭和女子大学」と改める
- 1953年 昭和28年 ● 学芸学部を文家政学部に変更
国文学部を日本文学部と改める
- 1978年 昭和53年 ● 文家政学部を文学部と家政学部に分離
- 2003年 平成15年 ● 文学部を人間文化学部に変更
日本文学部を日本語日本文学部に変更
- 2020年 令和2年 ● 日本語日本文学部100周年を迎える
- 2027年 令和9年 ●

日文での学びについて伝えたいことがもっとあります。
日文ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.swu.ac.jp/swuhp/university/nichibun>



昭和女子大学 人間文化学部 日本語日本文学科
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY Department of Japanese Language and Literature

入試に関するお問い合わせ アドミッションセンター Phone 03-3411-5154 E-mail spass@swu.ac.jp
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

[DESIGN 鷺野宏デザイン事務所]

「ことば」をつむぐ



世界が変わる

昭和女子大学
人間文化学部 日本語日本文学科 案内 2027

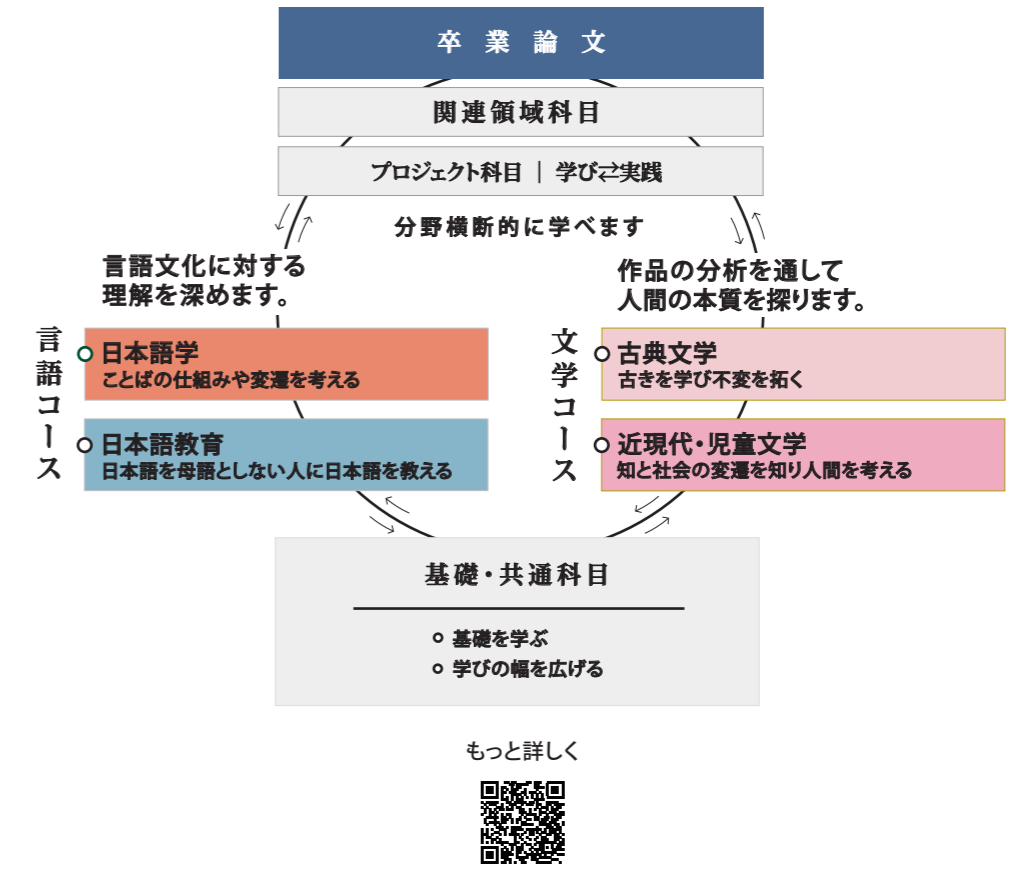
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY
Department of Japanese Language and Literature



「ことば」の力を将来に活かす

日本語日本文学科での学び

日本の言語文化を学ぶことは、日本文化を理解し、それを伝え発信していくための方法を身につけることです。日本の言語文化に対する深い知識とことばの力を培う過程で、ものごとの本質を見る確かな目と、社会の幅広い分野で活躍できるグローバル・リテラシーを養っていきます。



- P1 学びの概要(カリキュラムと資格)
- P2 教員の研究と授業紹介
- P4 日文の四年間
- P6 就職状況とキャリア支援
- P7 卒業生の声
- P8 日文のキャンパスライフ
- P9 学科長からのメッセージ



- ### 取得できる資格
- 高等学校教諭一種(国語・書道)
 - 中学校教諭一種(国語)
 - 日本語教員(大学認定証)
 - 図書館司書・司書教諭
 - 博物館学芸員
 - 文書情報管理士(2級)
 - 昭和女子大学認定アーキビスト(2級)
 - 社会福祉主事(任用資格)

教員の研究と授業紹介 学科の研究分野と授業についてピックアップして紹介します。



言語コース

日本語学 嶺田明美 教授 研究紹介

現代日本語の実態を研究しています。たとえば、動植物の観察を標本とするか、野山とするか、の手法があるとすれば、私は日本語を「野山で」観察しています。実際に使われる生き生きとした日本語を捉え、どう使われるか、どう変化し、なぜ変化するのか、考えます。

学生による 授業紹介 日本語学Ⅰ (音声と音韻)

日本語の発音に潜む面白さを学べる授業です。50音表では同じ行にある音でも、実は子音の発音方法が異なったり、古代では現代とは異なる音が使われていたり、と、知れば驚くようなトピックが音には隠れています。皆さんも日本語の面白さを発音や音の捉え方を通してぜひ実感してください。



中村麻友



日本語教育 近藤彩 教授 研究紹介

日本語母語話者と非母語話者が協働していく上で何が起きているのかを、どのようにすればいいのかを、主にコミュニケーションの場面を分析しています。日本語教育をその領域のものだけにせず、企業、官公庁、地域等と連携をし、より良い社会につながるために研究をしています。

学生による 授業紹介 日本語教育入門

この授業では、日本語学習者の現状や国内外の日本語教育事情、第二言語習得など日本語教育の基礎を学びます。自身の外国語学習を振り返り、学習者の視点から日本語を見つめ直すことで新たな発見にも繋がります。グループワークでは「わかりにくい日本語」をテーマに発表も行いました。日本語教育の第一歩にぴったりの授業です。



星咲織



文学コース

近現代文学 山本歩 准教授 研究紹介

近年は大正～昭和期に活動していた大泉黒石という作家に関心を持っています。その延長で、大正期の怪奇・怪談文学についても研究しているところです。怖い話、気持ち悪い小説がなぜ／どのような方法で書かれるのかを調べ、考えています。

学生による 授業紹介 日本文学史D (近代)

詩や俳句、短歌を中心に学びます。様々な詩人と出会い、作品を読み解き、短い形式ならではの表現に注目することで新たな発見が得られます。小説とは異なる魅力に触れ、高校までの授業ではあまり扱われない詩や俳句への興味を広げるきっかけになる授業です。



金和奏



古典文学 李國寧 専任講師 研究紹介

近世文学において、和漢比較の視点から、松尾芭蕉とその門下の俳諧、幕府の学問を担った林家の漢詩、さらに作品に表れる隠逸思想の諸相について研究しています。「和漢融合」や「雅俗往還」に見られる文学の交錯こそが近世文学の魅力であると考え、今後も比較文学の視点から、近世文学における和漢古典の受容について研究を深めていきます。

学生による 授業紹介 日本文学史Ⅱ (江戸の怪談)

上田秋成は、さまざまな分野に通じた多才な作家です。彼の著した『雨月物語』は、「和漢古典の織物」と呼ばれるほど多くの典拠を巧みに取り入れた、緻密な構成が特徴です。この授業では、「物語」「注釈」「研究論文」という三つの視点から作品を読み解き、その多層的な世界を深く解釈・鑑賞します。



阿久津怜那

言語コース

日本語学

日本語教育



須永哲矢

日本語の語彙・語法・文法・史的研究・活字
現代語文法、文法・実例研究



嶺田明美

日本語の音声・位相・表現
音声と音韻、日本語研究とコンピュータ



宮寄由美

コーパス言語学、語彙と意味、コミュニケーション論
ことばと社会、パソコン日本語学入門



大場美和子

会話データ分析、社会言語学、異文化間コミュニケーション
会話データ分析、社会言語学



近藤彩

日本語教育学、協働学習、外国人就労者支援
日本語教育入門



村上佳恵

現代日本語の文法、日本語教育のための文法記述
日本語文法論、日本語指導実践



鵜飼祐江

『源氏物語』を中心とする平安文学
源氏物語、枕草子



山本晶子

中世文学、特に中世芸能・歌謡
日本の演劇、宇治拾遺物語



李國寧

近世文学、和漢比較文学
江戸の恋、江戸の怪談、中国文学入門



笛木美佳

近現代文学(夏目漱石・遠藤周作等)
子どもの風景、遠藤周作



山田夏樹

近現代文学、文化
世界の中の日本文学(近現代)、日本文学史(近代)



山本歩

近現代文学(田山花袋・大泉黒石など)
明治の文学、日本文学史(近代)



福田委千代

日本近代児童文学
児童文学の近代、子どもとよむ詩

図書館学



池田美千絵

情報・メディア、図書館情報学
図書館概論、児童サービス論



熊谷慎一郎

図書館情報学
生涯学習概論、情報サービス演習

客員教授



ピーター・J・マクミラン

翻訳家、詩人



黛まどか

俳人

文学コース

中古文学

中世文学

近世文学

近現代文学

児童文学

言語と文学の学びを土台としてコースを選択し、4年間を通して「ことば」の力と洞察力を鍛えます。

言語と文学の基礎を学ぶ

まずは必修科目を中心に、日本語・日本文学の基礎を学びます。言語と文学をバランスよく学ぶことで、新たな興味を見出すこともあります。2年間、探求の様々な手法を幅広く学び、時には迷いながら、じっくりと専門分野を決めます。



コースの選択は2年次後期

コースを選択する

2年次の終わりにコースを選択します。ゼミ説明会では、ゼミに所属する3・4年生の先輩から話を聞くことができます。その後、ゼミ希望調査が行われ、探求していく分野を選びます。

発表と質疑応答でプレゼン力が磨かれます



ゼミに所属 専門性を高める

ゼミに所属して、興味のある分野の学びを深化させます。各自の持つ興味・関心をもとに設定したテーマについて調査する・分析する・発表することで、ものごとを論理的に検討するための基礎を身につけます。

4年間の学びの集大成



卒業論文を制作する

4年間の集大成である卒業論文の執筆に向け、研究をより深めます。ゼミで鍛えた洞察力、表現力とともにテーマを定め、問いを立て、多角的に検討しながら制作します。

1年次



図書館を利用する

学びを深める上で積極的に利用したいのが、約66万冊の蔵書をほこる図書館です。特に近代文学に関する貴重な図書・雑誌・新聞などを集めた「近代文庫」は他にはない魅力です。

学びの幅を広げる

興味がある分野の選択科目を履修して、学びの可能性を広げます。また、日文・歴史クロスオーバープログラム科目を履修することで、文学・歴史・文化を総合的に捉えることが可能です。

海外留学の時期は2年次を選ぶ人が多いです



← 詳しくは「日文留学ガイド」を。

2年次



海外にはばたく

2週間から6カ月の留学プログラムが用意されています。昭和女子大学ポストン校をはじめ、本学認定大学だけでも、中国、韓国、ベトナム、欧州があります。いずれも休学せずに参加できます。語学力を高めるだけでなく、自文化と他文化を客観的に見つめ直すきっかけになります。

3年次

文化を多角的に捉え直す

文化に関する科目や活動も充実しています。言語であれ文学であれ、それらは日本文化と密接に関連しています。テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)も隣接し、日文のTUJ交流企画運営委員会「S×Tars(スターズ)」や、単位交換プログラムなどがあり、学内にいても活発な異文化交流が行われています。専門分野を文化科目の観点からとらえ直すことで、新たな気づきが得られます。



仲間と協力しあい成果を見える形に



学び⇨実践 プロジェクト科目

日文の学びが社会にどのように貢献できるかを考え、実践する科目です。日本語学をベースとしたプロジェクト科目では、これまで担当教員とともに学会発表を行い、その成果を積極的に外部に発信しました。今年度は、近代文学、図書館学のプロジェクトも発足しています。コースや学年を超えて協働し、本の制作を通じて、社会と繋がる取り組みです。



もう少し詳しく解説します！

コース選択まで

1・2年次は言語と文学の基礎を幅広く学びます。「入学時には文学に興味を持っていたが、日本語学にも関心を持つようになった」など、学びを通して新たな興味に出会うこともあります。また、言語・文学の学びに加えて文化科目(グローバルな視野に立つ文化論(「サブカルチャー論」等)、日本の伝統に根差した文化論(「歌ことば歌ころ」等))を履修することで、視野を広げます。日文の学びと深く関連する歴史文化学科の授業を履修することができる日文・歴史クロスオーバープログラムという学科横断型プログラムなど、多様な学びの機会があります。物事を多角的に検討し、より深く理解することが可能です。

2年間、基礎を固めつつ視野を広げて自分の興味を見極め、2年次後期にコースを選択します。

学びの幅を広げる

国内にいながらにして、異文化と接するチャンスが多いのも特徴的です。短期・長期の留学はもちろん、世田谷キャンパスにおいても、学内外の留学生との交流が盛んに行われています。本学の敷地内にテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)がありますので、日本の学生とTUJの学生が協働で交流活動を企画したり、互いにそれぞれの授業に参加したりして、共に学んでいます。

文系のデータサイエンス

日文の学びを通して、文系ならではのデータサイエンスの素養を身につけることができます。ことばに関するデータを収集・分析、そこから見える事実を多角的に検討し、何が言えるかを見極めます。これはまさに、データを活用して有益な情報へとつなげていく文系ならではのデータサイエンスです。このように、日文の学びを通して、これからの社会に必要な力を鍛えることができます。

キャリアを見据えたプロジェクト

日文の学びをもとにどのような社会貢献が可能かを考え実践する「プロジェクト科目」が

あります。プロジェクトを通して課題解決に取り組みながら社会に様々な形で発信します。社会の隠れたニーズを探り出し、それを日文の学びで解決するという作業は、思った以上に困難で、初めはなかなかうまくいきません。しかし、その壁をどう乗り越えるか仲間とともに試行錯誤する、これこそが社会で生きていくためのかけがえのない力となります。日本語日本文学科での4年間を通して得られた学びは、卒業後のキャリアを支える確かな礎となります。

① キャリアの幅を広げる 資格取得

教員免許は国語教員(中学、高校)とあわせて書道教員免許(高校)も取得できます。また、日本語教育は、所定の単位を修得することにより、課程の修了証が取得できます。その他にも図書館司書や司書教諭、学芸員に加え、文書情報管理士(2級)が取得できます。2022年度からは新たに、公文書を扱うことのできるアーキビスト課程の履修が可能になりました。所定の単位を修得すると、昭和女子大学認定アーキビスト(2級)の資格が取得できます。公務員のキャリアとして有効な資格です。多様な資格取得の可能性が、キャリア選択の幅を広げます。

② 学生が企画・運営する プロジェクト科目

2026年度は近代文学、図書館学の二分野のプロジェクトが進行中です。近代文学の「隠れた傑作アンソロジー」は、近代文学の資料から、近年普及版の出ていない作品を発掘し、一つの傑作選を編集し、現代へ繋げる試みです。図書館学の「さわる絵本プロジェクト2026」では、視覚に障害がある方など感触を通して絵本の世界を楽しめる「さわる絵本」を制作します。公立図書館や病院など公共施設への寄贈を予定しています。

③ 国家資格取得につながる日本語教育

本学は、文部科学省から登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関として認可されており、所定の単位を取得し応用試験に合格することで、国家資格「登録日本語教員」を取得できます。授業では、日本語の音声や異文化間コミュニケーション等、日本語を教えるのに必要な知識を学びます。さらに、本学の留学生に日本語を教える授業や国外の協定大学での実習もあります。このように、知識と実践を体験を通してつなげることができなのが本学の日本語教育課程の特徴です。

日
文
の
四
年
間
も
っ
と
詳
し
く

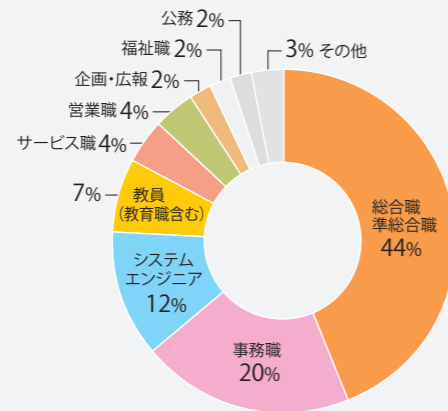


「ことば」の力が切り拓く未来



多様な職種で活かされる日文での学び

日文の卒業生は在学中に学んだことを活かして、さまざまな分野で活躍しています。国語や書道の教員、日本語教員などは専門性が直接進路に結びついています。一般企業の総合職やSEなどの分野においても日文で磨かれる「ことばの力」「コミュニケーション力」「洞察力」が求められます。自国の文化を理解する人材は国際社会でも必要とされています。卒業生にとって、日文での学びが実社会で生きる力となっています。



就職先の一例

総合職 ▶ あいおいニッセイ同和損害保険 / 日本カストディ銀行 / 足利銀行 / 城北信用金庫 / 住友生命保険 / オリックス生命保険 / イオンリテール / サミット / 伊藤忠プラスチックス / 三菱食品 / ホンダセールスオペレーションジャパン / 交通新聞社 / JAFメディアワークス / テプコ・ソリューション・アドバンス / マンパワーグループ / 神奈川県信用農業協同組合連合会 / 高齢・障害・求職者雇用支援機構 / 国立健康危機管理研究機構 **準総合職** ▶ 三井住友銀行 / 丸三証券 / ファーストリテイリング **営業職** ▶ 第一生命保険 / ティップ **システムエンジニア** ▶ NTTドコモ / OKIソフトウェア / キンドリルジャパン・テクノロジーサービス / トランスコスモス **事務職** ▶ 五洋建設 / 東洋建設 / 東ソー / 住友電気工業 / 住友電装 / 太陽生命保険 / 東京キリンビバレッジサービス / 日本郵便 / みずほファクター / みずほグループサービス / アイングループ / 日本不動産研究所 **教員** ▶ 東京都 / 神奈川県横浜市 / 神奈川県川崎市 / 栃木県 / 実践学園 **公務** ▶ 東京都葛飾区 / 東京都江戸川区 / 埼玉県春日部市

主な進学先 (2021-2025年度)

お茶の水女子大学大学院 / 神田外語大学大学院 / 國學院大学大学院 / 法政大学大学院 / 麗澤大学大学院 / 早稲田大学大学院 / 昭和女子大学大学院

日文ならではのキャリア・サポート

大学全体のキャリア支援に加え、学科の特性に沿ったサポート講座を実施

就職活動だけでなく将来にわたって役立つスキルを学べる**日文スキル系科目***をはじめ、**教員志望者向けサポート講座***や、**外部講師による講座***など、学生の学年・状況に応じた就職支援を行っています。

学生主催キャリア支援講座は、学生自らが実行委員をつとめ、夏の「**内定者座談会**」、春の「**OG・外部講師による講座**」を主催しています。自分たちで企画・運営をすることで、コミュニケーション力や課題解決力が鍛えられます。

SPI能力試験はもちろん、2年次に**自己分析**、その結果をふまえ、3年次では**ES対策講座**を行い、有機的な支援を行っています。

2022年度からは文学部・国文学系学科の卒業生を招き、**学科主催のメンターカフェ**を開催しています。メンターとの対話を通して「自分の考えを『ことば』として他者に伝える力」が鍛えられているという日文生の強みに気づき、キャリア意識の伸長のみならず、専門の学びをとらえ直す機会ともなっています。

***1 日文スキル系科目**
「スピーチトレーニング各論」「文章トレーニング各論」「ICT機器の操作」など、実践的で人気のある科目です。

***2 教員志望者向けサポート講座**
国語教員や日本語教員をめざす学生には、教育現場にいる卒業生を招いて就職座談会を開き、在学中の勉強方法、実習や採用試験の対策の他、現場の具体的な体験を聞く機会を設けています。3年の学年末には、目前に迫った教育実習の対策講座も実施しています。

***3 外部講師を招く講座**
学生のニーズに合わせ、これまでに自分の思っていることをうまくまとめて話す力を身につける「スピーチトレーニング」を実施しました。また、「総合適性検査(オンライン)」を実施し、検査データを正しく理解して活用するための「対面型フォローアップ講座」も実施しました。

歌人
歌誌「かりん」発行

馬場あき子

私がいま一番楽しくやっている仕事は選歌です。毎週300通から500通くらいの投稿ハガキをみます。短歌を通して「いま」を生きている人の心にじかにふれることができます。戦後という苦しい時代の中で日本文学を志した私には、古典和歌や近代以降の詩歌のことばの美しさ、やさしさ、簡素で奥深い表現への憧れがあり、短歌を作るようになりました。皆さんの知る日本語は美しいですか。生きて愛し、時に寂しく、時に哀しい心を伝えることばのふしぎを発見したいと思いませんか。(1948年卒)

川崎市立幸高等学校
国語科教諭

小林美紅

国語の授業では、日本語の面白さや日本語教育で得た物事を広く見る視点など、自分の専攻を組み込むことができている。また日文で培ったスピーチ力・言語化能力は、生徒からの信頼と安心感に直結すると実感しています。ぜひ様々なことに挑戦をして、ご自身のキャリアに繋げてください。(2026年卒/専攻:日本語教育) **新卒**

航空会社
エージェンツ

保木 菖

日文は色々な活動に取り組みたい方におすすめです。今まで知らなかった文化の背景や知識に触れることで教養を広げ、就職活動でも自分らしさを伝えることができました。(2025年卒/専攻:近代文学)

國學院大学大学院
文学研究科博士前期課程文学専攻

佐竹鈴音

日立ソリューションズ SE職

塩見玲奈

私は日文で日本語学を専攻し、特にゼミ活動でのレポートや卒業論文の執筆を通じて、「論理的に文章を構成する力」や「日本語運用能力」を磨いてきました。この力は、就職活動においても、社会人として働くうえでも大きな武器となっています。複雑な情報の整理や構造化が求められるシステムエンジニア(SE)の業務においても、論理的思考力は大きな強みとなっています。(2025年卒/専攻:日本語学)

光文社
VERY編集部

石川穂乃実

新卒で出版社に入社して10年目になり、現在は女性誌編集部で編集者として働いています。刻々と変わっていく価値観を追いかけ表現できたとき、やりがいを感じると同時に、学生時代に培った人や作品と真摯に向き合う力が活かされていると感じます。(2017年卒/専攻:近代文学)

現在大学院で『古事記』を中心に上代文学を研究しております。日文での学びを通して上代文学と出会い、その魅力に触れたことで研究をしたいと考えようになりました。また、学びの中で深まった上代文学への関心は、現在も研究を続ける大きな支えとなっています。(2026年卒/専攻:上代文学) **新卒**

世田谷文学館
学芸員・学芸部部長

中垣理子

本職に就いて30余年。「文学」を専門とする学芸員としての喜びは、展示や普及活動を通じて、文学がいかに私たちの人生に不可欠なものであるかを、多くの方々と分かち合えることにあります。この仕事に巡り合えたのも、望めばいつでも惜しみなく学びの場を与えてくれた、昭和の日本文学科での日々があったからこそだと思います。(1989年卒/1992年大学院(修士)修了/専攻:近代文学)

カラフルに活躍する十三名の卒業生の声

総勢9,736名
(開学以来の日文の卒業生数)

卒業生の声 続きはここから

東京国際大学
Japanese Language Institute(JLI)
日本語専任講師

秦茉莉衣

私は今年度から、長年の目標であった日本語教師としてのキャリアがスタートしました。現在は大学で、世界60か国以上の留学生に日本語の指導をしています。日文で培った、多様な背景をもつ留学生に対応するための「想像力」と、楽しく日本語を学べる活動を考案・実践する「創造力」は、私の指導の強みになっています。(2024年卒/専攻:日本語教育)

住友電気工業株式会社

西川果凜

社会人になってからも分かりやすい文章を書く力やコミュニケーションを図る力は必要不可欠です。日文では、作品を精読し、自分の考えを言葉で表現する機会が多くありました。日文で学ぶことができ、自信を持って自分自身の考えや思いを書いたり、伝えられるようになったことが現在にも役立っています。(2026年卒/専攻:児童文学) **新卒**

千葉県商科大学付属高等学校
国語科専任教諭

高根菜海

作品が生まれた背景や当時の思想、現代にも通じる価値観など、多角的な視点から作品を探究することを授業の基盤とし、高校生が文学に触れる楽しさを体感できるよう、日々励んでいます。生徒に何を伝えたいかを明確にし、現在教壇に立つことができているのは、日文での学びのおかげだと思います。(2023年卒/専攻:中世文学)

進研アド
東京支社企画営業

丸山明莉

企画営業の仕事は、お客様の現状や市場ニーズを正しく認識し、分析し、考察したうえで課題解決に向けた企画をご提案することです。在学当時、近現代文学を学ぶ中で作者、登場人物、時代背景など様々な視点から作品の考察を行いました。まさにこの情報収集→整理→考察までの一連の経験が企画営業の仕事をするうえで活きていると実感しています。「文学を学ぶ過程で得た力」をもとに選べる将来の選択肢はとても広いです。ぜひ自信をもって自分の好きなことを学ぶための進路選びをしてほしいと思います。(2021年卒/専攻:近現代文学)

早稲田大学大学院
教育学研究科 国語教育専攻

鈴木雅弓

現在、日本語の文法について研究をしています。みなさんが暗記に取り組んでいる古典文法などの知識は、大学で学問として向き合ったとき、表情豊かにわくわくする世界を見せてくれることでしょう。私自身日文でその世界に魅せられて、今はもっと広く学び、思考を深めたいと思っています。(2026年卒/専攻:日本語学) **新卒**

静岡県教育委員会
小中学校事務職員

土屋綾香

特に言葉遣いには気をつけています。学校の顔としての役割を担うため、窓口や電話の応対では、丁寧に柔らかく、かつ簡潔で伝わりやすい言葉や表現を使うように意識しています。同僚に対しても同様に、会話や会議などでは相手が不快にならないような言葉遣いを心がけています。(2025年卒/専攻:中古文学)

日文的キャンパスライフ

緑に囲まれたキャンパスでは、四季の移ろいが日々の学生生活にそと寄り添い、彩りを添えてくれます。空きコマやお昼休みには、窓辺で本を開いたり、音楽に耳を傾けたりと、思い思いの時間を過ごすことができます。友人とゆりの木広場などのベンチで過ごすひとときも、心をリフレッシュさせてくれる大切な時間です。忙しい日々の中でも、ふと外の景色に目を向けるだけで、不思議と心がほぐれ、「もう少し頑張ろう」と思える瞬間があります。

近世文学を中心として日本文学や中国文学を学んでいますが、文学以外の授業の受講や他の受講生の感想の共有により自分にはなかった視点や考え方が増えていくため学年が上がるごとにますます授業が楽しくなるのを感じます。分野の幅が広いので、好奇心でほとんど知識がない内容の授業を受け、未知の面白さと出会うという機会が多いのが日文の魅力の一つだと思います。



オープンキャンパス

学科説明、体験授業の他、受験生が聞きたい情報を短時間でコンパクトにお伝えします。在学生と気軽に話せるブースもあります。

開催日程

- 06/21(日)
- 07/19(日)
- 08/22(土)
- 08/23(日)

最新情報はウェブページでご確認ください。※日時・場所とも変更の可能性があります。



第14回 日文公開講座

「うたをよむ」

古谷 円(歌人)
須永哲矢(昭和女子大学教授)
コーディネーター
額田明美(昭和女子大学教授)

日時:10/10(土)14:00~15:30
会場:昭和女子大学
オーロラホール(8号館6F)

※詳細・お申し込み方法は
ウェブページでご確認ください。



日文では、日本語学・日本語教育・日本文学の3つの分野に分かれるため、専門分野が同じ友達も、異なる友達もできます。専門分野が同じなら、自分の知識・興味を深められ、専門分野が異なっていたら、自分の専門分野に活かせる新たな知識を得られます。また、図書館には、日文の分野の資料が豊富にあり、一人での学習も捗ります。日文は、一人でも、友達と一緒に追いかめられる場所です。

日本語日本文学と聞くと、留学や国際交流というイメージはあまりないかもしれませんが、この学科には留学生と交流するプログラムやイベントがたくさんあります。さらに、長期留学や二週間の短期留学に休学せず、参加することができます。私も実際に短期留学に参加し、海外の文化を学ぶことができました。日本語や文学を学ぶだけで終わらず、海外に目を向けることで新たな発見や知識を得ることができました。

日本語日本文学では、**ことを学ぶ**が四年間が待っています。

最後に改めて、「学ぶ」ということについて。

まずは受験勉強、その先も、資格を取るための勉強、仕事で使う技術の勉強…この世界での「勉強」の大部分って、「手段」なんだと思うんです。試験に受かる、という目的の「ために」、勉強がある。そのためだったら、「つらい勉強」も、がんばれる。

でも、すでにこうして読めて、話せていることを、わざわざ学ぶとしたら、それは何になるんだろう？
いま、この文を、大学行かなくてももう読めてますよね、意味も分かりますよね。

日本語日本文学の最大の特長は、**学ぶこと自体を「目的」と**することなんです。

手段ではなくて、目的。ほかの何かのために学ぶんじゃない、学ぶために学ぶ。学びたいから、気になるから、考えたいから、学ぶ。学ぶために、学ぶ。

たとえば気の合う人と、ただおしゃべりしてる時間、考えてほしい。そのおしゃべりは、何かのための手段ですか？おしゃべりは手段ではなく、おしゃべりそのものが、とっても大切な時間。この学科における、自分と学びの関係は、これと同じなんです。

ことはと向き合い、自分自身と、自分を取り巻くこの世界と向き合い、考えること。

この学科は、それ自体を目的としています。それが、楽しいんです。

今すぐに役立つことは、もっと他にあるかもしれない。でも、目まぐるしく変わりゆく世界。「今すぐ役に立つこと」の価値は20年後、30年後、どうなっているだろう。学ぶことそのものを目的とした4年間の学びは、30年経っても、50年経っても、あなたの人生を豊かにすると信じて、私たちは、きょうも皆さんと一緒に学び続けているのです。

学ぶことを目的とした学び、学ぶために学ぶ時間が、ここから、始まります。

日本語日本文学 学科長

須永哲矢

